



みやぎの多面的機能支払交付金

ぐるみ

高めよう 地域協働の力!

令和6年度 第1号



第3回みやぎのふるさと農美里フォトコンテスト
入選作品（撮影場所：登米市）

～ Contents ～

- 令和6年度多面的機能支払交付金 改正のポイント
- 全国の取組状況、会議の開催状況
- 多面的機能支払に係る活動支援研修会の開催について
- 第1回農作業事故防止に向けた自動草刈機実演研修会の開催について
- 多面的機能支払交付金に係る中間確認の実施
- 活動事例紹介 八宮地区環境資源保全会〔白石市〕
- 活動事例紹介 毛萱資源保全隊〔角田市〕
- 活動事例紹介 船迫地区資源保全隊〔柴田町〕
- 協議会からのお知らせ

令和6年度 多面的機能支払交付金 改正のポイント

1 様式の変更なし

令和6年度も様式の変更がありません。



2 加算措置の一部が廃止

- ① 農村協働力の深化に向けた活動への支援
- ② 活動の広域化・体制強化への支援

令和6年4月より廃止になりました

※令和5年度に上記の加算措置を受けている組織は、経過措置が適用される場合があります。

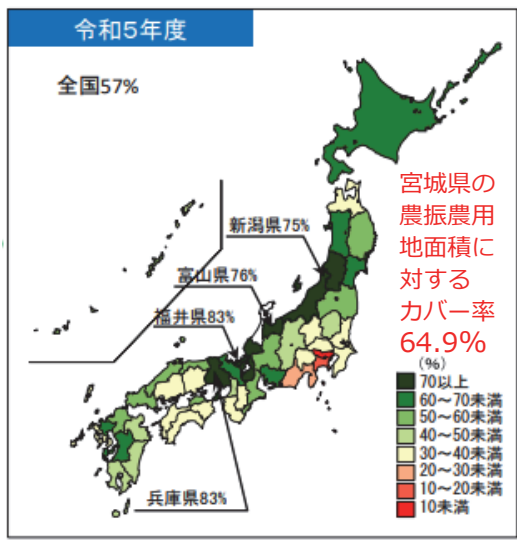
全国の多面的機能支払交付金の取組状況

農林水産省より、『令和5年度多面的機能支払交付金の実施状況』が公表されました。

農地維持支払交付金の実施状況は、全国47都道府県1,432市町村において25,557組織が約230万haの農用地を事業計画に位置づけ取り組んでいます。

うち宮城県内では、33市町村において989組織が約7万5千haの農用地で取り組んでいます。

令和5年度実施状況の詳細はこちら



会議の開催状況

◆令和6年度 新担当者事業説明会

4月19日、多面的機能支払交付金新担当者事業説明会を開催しました。4月の人事異動等により新しく交付金の担当となった市町村等職員39名を対象に「制度の概要」や「事務手続き」などについて説明を行いました。



◆令和6年度 第1回市町村担当者会議

5月14日、第1回市町村担当者会議を対面及びWeb併用で開催しました。会議には市町村等の担当者64名が出席し、「東北管内多面的機能支払交付金担当者会議(第1回)」の報告や「令和6年度予算」、「交付金に係る事務手続き」などについて説明を行いました。



多面的機能支払に係る活動支援研修会を開催しました

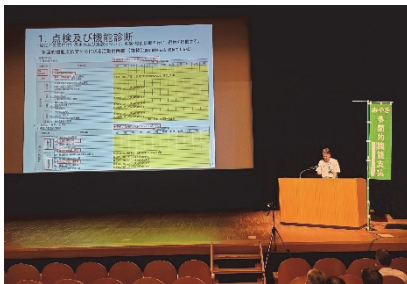
7月30日から8月20日にかけて、宮城県内で多面的機能支払交付金の活動に取り組んでいる活動組織を対象に『多面的機能支払に係る活動支援研修会』を県内7会場で開催いたしました。

県内784組織、関係団体を含め1,673名のご参加をいただき、本交付金の事務手続きや活動が適正に行われるよう、制度の内容や事務手続きのポイントなどについて研修を行いました。

また、今年度は東北農政局土地改良技術事務所より、「農業水利施設の長寿命化に向けたポイント」と題し、機能診断及び補修技術に関するご講義をいただきました（一部会場において参加された皆様には映像にてご覧いただきました）。

そのほか、各研修会場において、事務処理に係る負担軽減を目的とした『多面的機能支払交付金に係る事務支援ソフト』を制作している企業にお越しいただき、事務支援ソフト等の実演ブースを設けました。事務作業軽減化のため、ソフトを導入する組織も徐々に増加傾向にあります。

なお、欠席された活動組織には、研修資料を協議会から発送しておりますので、内容のご確認をお願いします。ご不明な点などございましたら、所管する市町村または協議会事務局までご連絡ください。



土地改良技術事務所の講義



研修会場の様子



事務支援ソフト実演ブース

～ 研修会のポイント ～

■ 円滑な組織運営のポイント！

- ① 構成員の**合意形成**をしっかり行う
- ② 役員の行う事務は**お互いに確認**し合う
- ③ **日当は参加者本人に支払い、受領を確認**する

■ 活動における留意事項

- 組織毎に取り組む活動内容が異なるため、活動計画書や各解説をしっかりと確認すること（市町村から認定されていない活動については実施できません）
- 面積の減少等の変更が生じた際は、速やかに市町村に相談し、変更手続等の事務処理を行うこと
- 「地域資源の適切な保全管理のための推進活動」は『資料』や『会議録』を作成し保管すること
- 今年度活動期間の終期を迎える組織は「地域資源保全管理構想」を策定すること
- 作業活動時の安全確保を確実にし、傷害保険や賠償責任保険に必ず加入すること
- 日当の単価は、地域で一般的に適用されている類似作業の労務単価等を参考にすること
- 自動販売機での購入等、領収書やレシートが確認できないものへ支出しないこと



第1回農作業事故防止に向けた自動草刈機実演研修会を開催しました

7月18日、石巻市桃生総合センター敷地内において、宮城県、宮城県東部地方振興事務所並びに本協議会が主催し、「第1回農作業事故防止に向けた自動草刈機実演研修会」を開催しました。

この研修会は、近年多面的機能支払交付金に係る草刈作業中の事故が多発していることから、草刈作業における安全管理及び斜面用自動草刈機等の導入による作業の省力化に向けた知識習得を図ることを目的として開催しています。

当日は約60人が参加し、宮城県の担当者からの安全管理に係る説明や協力企業5社による自動草刈機の実演を見学し、斜面での草刈作業の省力化や安全性について確認しました。

※現地の都合上、東部管内活動組織の認定農用地面積が一定規模以上の活動組織23組織に限定してご案内しました。



【ご協力企業様（50音順）】

- (株) 五十嵐商会
- (株) ㊦セキ東北
- クボタアグリサービス (株)
- やまびこジャパン(株)
- ヤンマーアグリジャパン (株)



安全管理に関する説明



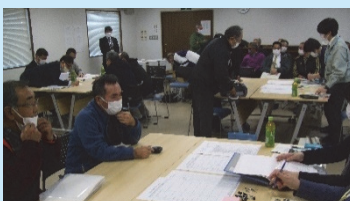
リモコン式草刈機の実演

多面的機能支払交付金に係る中間確認の実施

10月以降、県内では多面的機能支払交付金に取り組んでいる活動組織を対象に、県要綱基本方針に基づき、各市町村において指導・助言を行う『中間確認』が実施される予定となっています。

中間確認では活動計画書に位置づけた活動の実施状況や記録、金銭の出納状況や残高、総会の開催状況などについて確認が行われますので、あらかじめ書類等の整理をお願いします。

なお、中間確認で指摘、指導を受けた事項については速やかに改善してください。



中間確認の様子

◆主な確認書類（※活動組織、市町村で異なります）

- ・ 金銭出納簿、活動記録、領収証、預貯金通帳
- ・ 総会資料、決定事項を記載した書面（議事録など）
- ・ 点検の記録、機能診断の記録
- ・ 年度活動計画、農村環境保全活動の計画
- ・ 日当等の単価表
- ・ 備品台帳、財産管理台帳
- ・ 財産譲渡の関係書類
- ・ その他活動を証明する書類（会議資料、調査結果、契約書など）



活動事例紹介

八宮地区環境資源保全会〔白石市〕

地区概要	取組面積：117.7ha（田97.8ha、畑19.9ha） 資源量：水路 36.8km 農道 8.7km ため池 一箇所
令和5年度交付金	農地維持支払交付金 3,330千円 資源向上支払（共同活動）交付金 2,303千円 資源向上支払（施設の長寿命化）交付金 千円
地域の概要	白石市は宮城県の南端に位置し、西は奥羽山脈、東は阿武隈山系に囲まれ、市域の7割が山林を占めています。本保全会の属する地域は蔵王の麓を源流として、清らかで豊富な水資源に恵まれており、そのほとんどは水田への活用が主体となっています。 また、地域は鎌先温泉に隣接しており、地域内には観光施設「弥治郎こけし村」があるため、観光客の往来も見られます。
取組みの概要	本保全会は、清らかで豊富な水資源を農村環境の維持発展と後世に引き継ぐ術として、水路の十分な保全管理を行いつつ、地域環境の維持向上の一環として、花を用いた景観形成に力を入れています。さらに、地域の子どもたちが水資源と触れ合える機会として、地域の子供会を招いた「水生生物観察会」を開催しています。
取組みによる効果	花の植栽により景観は向上しました。作付けされていない水田を活用し、蓮やポピー等の植栽を行うこと、さらにそれらの法面に防草シートを設置した芝桜の植栽を行うことは、農地や法面管理の省力化につながっています。また、子供会とは水生生物の観察のほか、環境浄化ポスターの作成も実施し、地域全体で豊かな農村環境を守ろうという機運が高まっています。
今後の課題	土手など急傾斜の多い中山間地域であるため、高齢化が進む中での農地の維持に苦労しています。また、昔から使用している水路は老朽化が進み、傷んでいる箇所が多く、用水がU字溝から漏れ出す・下流まで行き渡らないといった課題があることから、U字溝の入れ替えや増設による対応を視野に入れています。資源向上に関しては、花を用いた景観形成などに、地域の女性が参加し活躍できる機会を増やせるよう検討しています。
その他	時期ごとにマリーゴールドや葉ポタンの苗を使用し、「八宮のさと」の花文字を形成しています。このほか、景観維持の一環として、ポイ捨て禁止を呼びかける趣旨の看板を設置し、「この農道・農地は地域の宝です」と表記しています。



草刈作業



法面の芝桜



水生生物観察会



環境浄化ポスター



葉ポタンによる花文字形成



花文字「八宮のさと」

毛萱資源保全隊〔角田市〕

地区概要	取組面積：174.1ha（田167.5ha、畑6.6ha） 資源量：水路 13.6km 農道 3.9km ため池 2箇所
令和5年度交付金	農地維持支払交付金 5,156千円 資源向上支払（共同活動）交付金 3,084千円 資源向上支払（施設の長寿命化）交付金 -千円
地域の概要	本地域は角田市の北西部に位置し、平野部はほ場整備により30a～1haに整備された水田地帯で、山間部は未整備地で狭小の農地や荒廃した農地が点在する地域です。 行政区は西根11区～13区の3行政区が一体となり「毛萱地区」として活動しています。少子高齢化問題が深刻化しており、共同作業のあり方などを検討しております。
取組みの概要	保全隊は農家と非農家（土地持ち含む）及び認定農業者などで活動を行っています。 農地維持活動では、農地・農道・水路・ため池等の点検・機能診断を実施し、計画をたてながら各施設の草刈りや江払いなどを実施しております。 資源向上活動では、「角田市一斉のクリーン作戦」によるゴミ拾い、行政区単位での植栽活動による「角田市花壇コンクール」への参加、遊休農地の管理、外来種駆除、農道の支障木伐採、簡易な地域住民による直営施工（水路装工等）などを実施しております。
取組みによる効果	共同作業による草刈りや江払い、植栽活動やクリーン作戦などにより、地域住民老若男女を問わず活動を行うことで、以前にも増してコミュニケーションが図られ、地域の結束が高まってきております。景観形成のための植栽活動、クリーン作戦、遊休農地の管理、農道の支障木伐採などにより、地域の景観が維持され良好な農村の景観が保たれています。この活動を継続するために、保全隊役員を中心に地域内での話し合いも進めております。
今後の課題	当地域も少子高齢化の問題が顕著になっており、特に、共同作業などへの参加者が年々減ってきており、参加者への負担が重くなり活動時間も長くなるなど、今後の対策に苦慮している状況です。今後は、担い手などによる機械作業が増し、将来的には外部委託又は行政にお願いするなどの検討も必要になってくると思います。
その他	可能であれば保全隊として、例えばトラクターモア・バックホウ・ウッドチップパーなど大型器械の購入（分割払い）が出来れば、活動の継続も可能ではないかと思っております。 当地区の植栽活動用の苗は、花の会のハウスを利用し、種を蒔いてポットに移植し、自ら育てて移植しています。当地区の花壇は角田市の「モデル花壇」に指定され、沿道を行き交う人々の憩いの場となっております。 地域住民による簡易な直営施工により、小水路の装工、水路わきのネットフェンスの改良、地域内の電気柵・ワイヤーメッシュ補修などを行っております。



花の会ハウスでの種蒔作業



植栽花壇での花芽取り、草取り作業



夏祭りを通じた地域住民との交流活動



バックホウによる江払い作業



ネットフェンスの改良作業



地域住民による水路装甲作業

船迫地区資源保全隊〔柴田町〕

地区概要	取組面積：81.1ha（田81.1ha） 資源量：水路 13.1km 農道 6km ため池 一箇所
令和5年度交付金	農地維持支払交付金 2,433千円 資源向上支払（共同活動）交付金 1,135千円 資源向上支払（施設の長寿命化）交付金 ー千円
地域の概要	柴田町は仙台市から南へ約25kmに位置し、町の総面積は54.03平方キロメートルです。北西部は丘陵地帯で標高200m前後の山が連なり、町の東南端を阿武隈川が流れ、町を南北に二分するように中央を白石川が流れております。 『花のまち柴田』をスローガンに、春は桜、初夏の紫陽花、秋の曼珠沙華（彼岸花）と菊、冬のイルミネーション等、一年を通じて花をテーマにまちづくりを推進しています。
取組みの概要	当組織は、平成24年度から多面的機能支払交付金事業を活用し、農業者を中心に生産組合、消防団、女性部、子ども育成会と複数の団体と連携を図りながら、地区内の農業環境維持・向上に取り組んでいます。活動内容としては、用水路の草刈りや土砂上げに加え、農道整備を地域の共同活動として実施しています。また、女性部を中心に年3回の花の植栽を行い地区内の景観向上の一役を担っています。
取組みによる効果	町では平成25年頃から、野生イノシシによる農作物への被害が増加傾向になり、水稲への被害が多数発生しました。当地区においても被害が確認されたことから、平成29年に当組織のメンバーを中心とした『船迫地区鳥獣被害対策協議会』を立ち上げ、集落ぐるみによる電気柵を設置し約30haの水田を管理しています。 現在は、多面的機能支払交付金の農地維持活動における鳥獣害防護柵の適正管理を活用し、電気柵の保守点検や草刈りによる維持管理を行うことで農作物の被害を防いでいます。
今後の課題	現在、活動の主力である構成員も数年後には80代を迎え、高齢化による課題は避けられず、担い手不足解消が喫緊の課題で、将来的には広域化も見据えて、町や他地区の資源保全隊とも話し合いの場を持ちながら連携を図っています。 また当組織においては、3年前から多面的機能支払交付金事業の事務処理ソフトを導入し、少しずつではありますが、持続可能な活動となるように前向きに取り組んでいるところです。
その他	船迫地区資源保全隊の構成団体である女性部は、地区内の花植えや花壇の管理など景観資源向上の役割を担っております。この女性部では資源保全隊活動のほかに『食育』へも力を入れており、小さいお子様を持つ家庭への野菜提供や収穫体験などを行っており、地域内における世代間交流も活発に行っております。



農道砂利敷き状況



農道砂利敷き状況



排水路の草刈り状況



排水路の草刈り状況



女性部による花の植栽状況



女性部による植栽前の花壇整備状況

協議会からのお知らせ

学習教材と多面的機能支払交付金についての解説動画が配信されました

■こども向け学習コンテンツ

農林水産省では、次世代を担うこどもたちへ農業や農村の大切な役割や魅力を広く伝えるため、楽しく学べるマンガや動画、補助教材を公開しています。

これらの学習コンテンツは、全国の教育現場やご家庭での学習教材として無料でご利用いただけます。



■多面的機能支払交付金についての解説動画

全国水土里ネットより、活動組織の体制強化や推進組織の業務効率化・省力化に向けて、多面的機能支払交付金に係る研修教材用動画が配信されました。

こちらの動画は協議会のホームページからもアクセス可能です。



<p>全土通</p> <p>多面的機能支払交付金でできること</p>	<p>全土通</p> <p>多面的機能支払交付金利用の手続</p>	<p>全土通</p> <p>多面的機能支払交付金活動組織の広域化のすすめ</p>
<p>【多面的機能支払交付金研修用動画】 多面的機能支払交付金でできること (Youtube)</p>	<p>【多面的機能支払交付金研修用動画】 多面的機能支払交付金利用の手続 (Youtube)</p>	<p>【多面的機能支払交付金研修用動画】 多面的機能支払交付金活動組織の広域化のすすめ (Youtube)</p>



広報誌 ぐるみ (令和6年度第1号) 令和6年10月発行

宮城県多面的機能支払推進協議会

〒980-0011

仙台市青葉区上杉二丁目2番8号 (宮城県土地改良会館内)

Tel 022-263-5829 Fax 022-268-6390

ホームページ <http://www.nmk-miyagi.org/>

E-mail info@nmk-miyagi.org